

平成28年度 まちづくり活動支援事業の報告

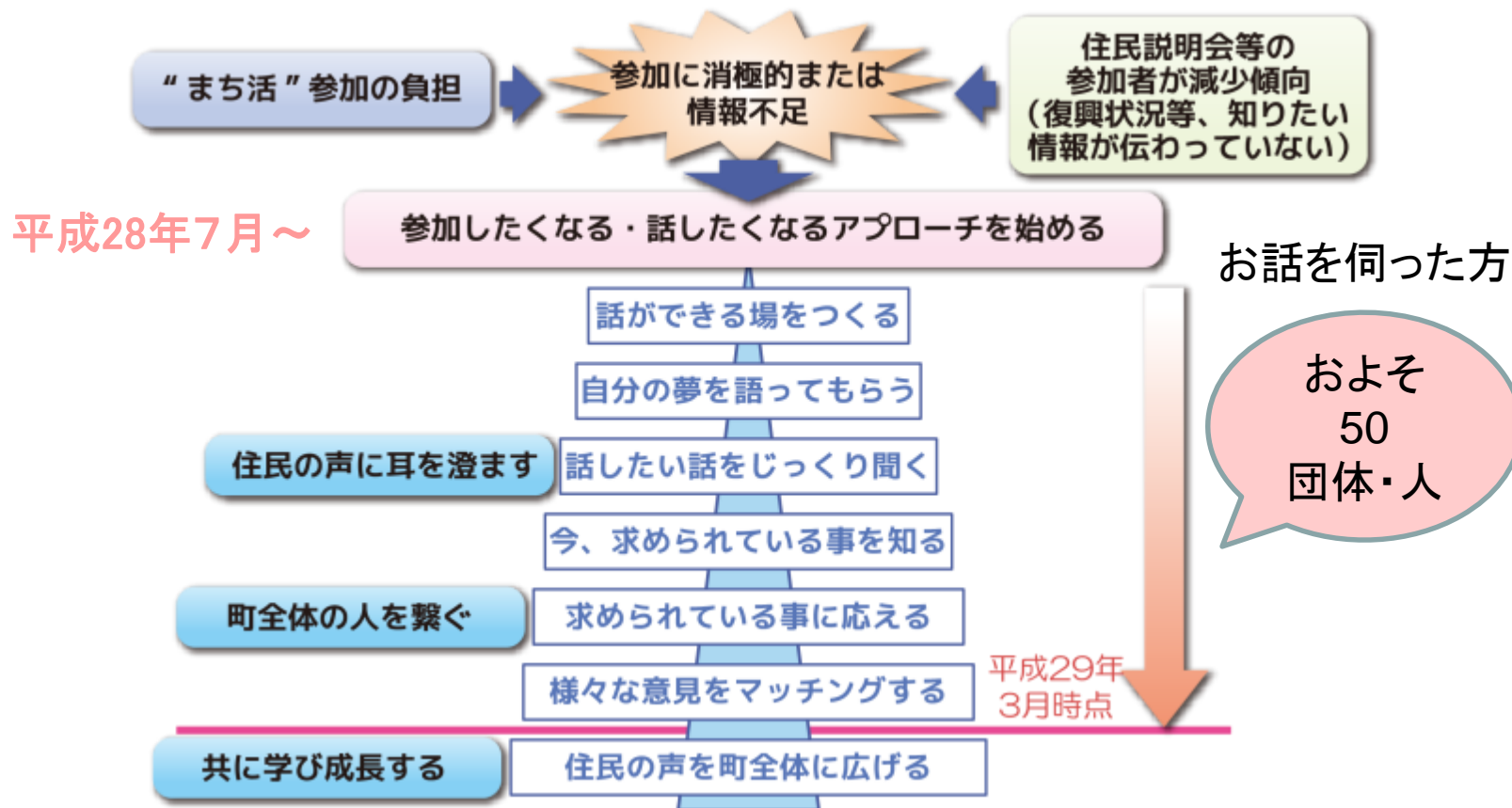


ヒアリング実施

アウトリーチ型ヒアリング※によるニーズ把握とマッチング

復興が進められ『新しく生まれ変わったまち 女川』
日々の暮らしの中で「何かしたい」という気持ちを聴くために
アウトリーチ型ヒアリング※を実施しました

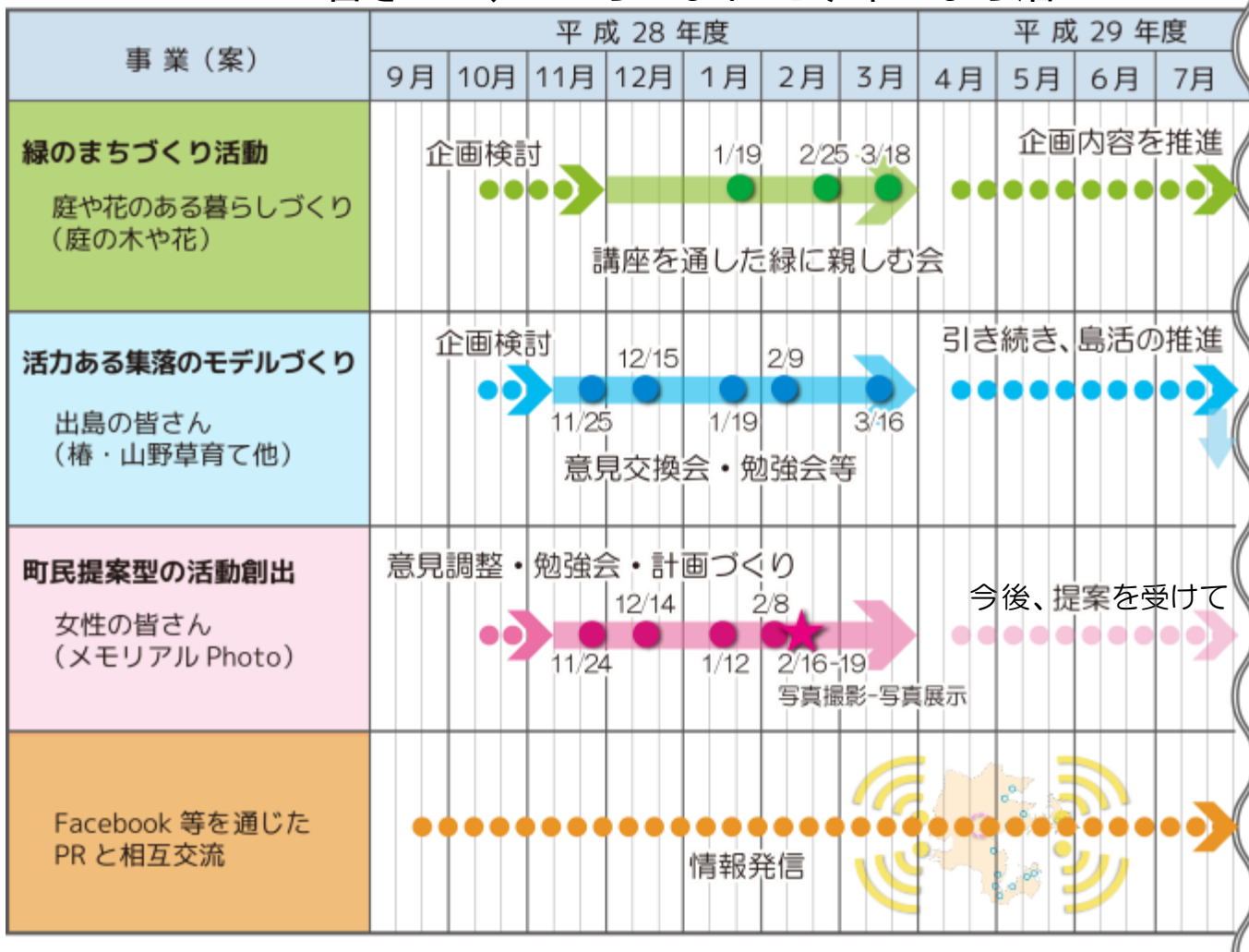
※アウトリーチ型ヒアリング:こちらから出向き聴き取るヒアリングのしかた





ヒアリングから生まれた3企画

ヒアリングによって聴こえた “皆さんの声”から生まれた今年のまち活





1. 緑のまちづくり活動



目的：新たな暮らしが始まる町で“暮らしを彩る庭づくり”を通じた
自慢したくなる女川の街並みづくり

●今年できた事

- ・花と緑に興味ある人が集まり、互いに学び教え合う、テーマ型のコミュニティづくり

●これから

- ・公共空間を活用した実践の場の提供(共同花壇、寄せ植えなど)
- ・地域コミュニティとの連携(新行政区への出前講座など)

「緑・花のある暮らしについて」



「ガーデニングデザイン検討」



視察～仙台市南蒲生地区





2. 活力ある集落のモデルづくり



目的：出島に橋が架かることが決まった今こそはじめる

>>地域の魅力の再発掘とそれを守る仕組みづくり

●今年できた事

- ・出島地区の女性限定の活動から、島の男性や寺間地区の女性を巻き込んだ活動に発展した。
- ・それぞれが思う魅力を、みんなで1枚の地図「島の見どころマップ」に整理し共有できた。
- ・みんなで一緒にしたい取組み(山野草のある散策路 ほか)が明確になってきた。

●これから

- ・「島活モデル」の横展開を見据えた他の集落との連携。

「島の魅力についての話し合い」



若い世代との意見交換と 「地域資源マップづくり」

山形県飛鳥
小川ひかりさん



(1月19日)



(12月15日)

アスヘノキボウ 後藤大輝さん



(2月9日)

対話工房 海子揮一さん



出島みどころマップ

Go ahead!! 島活

みどころ マップ(案)

● ゆっくりできるところ
● 遊遊び、海水浴
■ 写真スポット

◆ 出島地区永清寺 ◆
◆ 出島地区八雲神社 ◆
◆ 出島地区 永清寺 ◆
◆ 出島地区 八雲神社 ◆
◆ 出島地区 永清寺 ◆
◆ 出島地区 八雲神社 ◆

◆ タノシニコウ ◆
◆ タノシシマ ◆
◆ 白浜海水浴場 ◆
◆ 出島港 ◆
◆ 津波で水に引っ掛かった浮き球 ◆
◆ 海透明度が良い ◆
◆ 崖で出島港の浮き球が流れている場所 ◆
◆ 小中学校跡地 ◆
◆ ストーンサークル ◆
◆ いざな海水浴場 ◆
◆ ミナミハマ ◆
◆ トノハマ ◆
◆ 新しい道路 出島から寺間へ ◆
◆ 出島道筋 ◆
◆ ストーンサークル：縄文時代の石を配した道筋 ◆

◆ 煙道路があったところ ◆
◆ 散策路 (サイクリングロード) ◆
◆ 空羅洞 (ソラカツボラ) 洞窟から空が見える場所 未だ場所が特定できていない ◆
◆ 海産物 (外海) ◆
◆ 「オサ」…良い所 ◆
◆ 寺間町 ◆
◆ 寺間地区 飯島神社 ◆
◆ 女川いのちの石碑 ◆

◆ 内海 ◆
◆ 外海 ◆

◆ 出島集会所 ◆
◆ 寺間地区 飯島神社 ◆
◆ 女川いのちの石碑 ◆



3. 町民提案型の活動創出



目的:心の復興が望まれる中、自分の中で育ててきたアイデアを実現したい
>>女川マダム「ちょっと おしよすいげっど、きれいになって思い出の写真撮ってみねえすか！」

●今年できた事

- ・50代女性の持つ課題意識(高齢者のにぎわいづくり)を、誰もが楽しめる撮影イベントに転化
- ・その声を実現化するため、計画づくりから実践までをまち活事務局がサポート

●これから

- ・「新しい町で何か始めたい」という声や、持ち込み提案に対する支援体制の確立

スタッフの皆さん

打合せは平日夜、4回以上の検討会議を実施

「女川マダム」撮影会

2月16日



展示会
2月17-19日

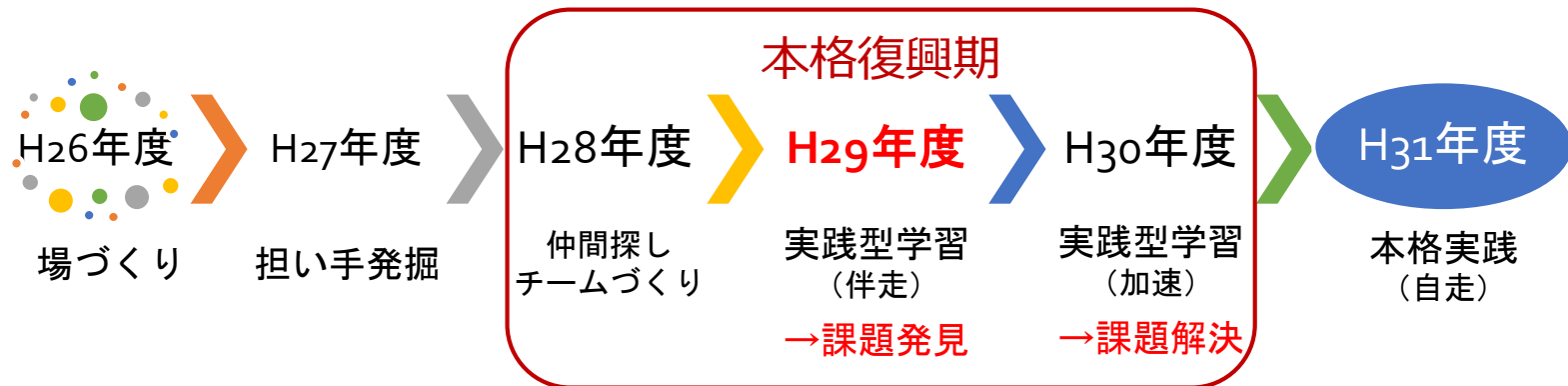


(2月8日)



これからの“まち活”

町民一人ひとりが“まちのプレイヤー” “まちの主人公”



■平成29年度の進め方

- ① 緑のまち活を通じたネットワーク拡大
 - それぞれが出来ることを持ち寄る場に発展
- ② 「島活」モデルの横展開
 - 暮らしに内在する「課題」を聴く
 - マッピングで地域の魅力を「見える化」
 - 「お茶っこ」のチームとしての可能性
- ③ 町民提案の持ち込み企画の実現支援
 - 「何かしたい」を具現化

